

ふるさと通信員だより

vol.170



私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しつゝ、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



53年目の追悼法要

老人クラブ東土幌喜楽会(安田喜久男会長、会員150人)が、報徳寺で「先輩物故者追悼法要」を執り行いました。

物故会員(210人)に対する追悼法要は、昭和40年から実施され今年で53年目になります。祭壇には、会員が持ち寄ったグラジオラスや菊などの花が飾られ、1年以内に亡くなった3人の遺族をはじめ、参列者52人が焼香を行いました。

安田会長は「先輩が亡くなっていくことは寂しいことです」とあいさつ。会食では生前の故人をしのび思い出を語り合っていました。



おばあちゃんのために 作ったよ

生涯学習課主催の親子木工教室が、旧東中音小学校で開催され町内小学生親子20組がいす作りに挑戦しました。

講師は帯広大谷短期大学助教の馬場拓也さん。「誰のためにいすを作るのか、いすに座る人をもっと作りましょう」と先生からアドバイス。

脚をポンドとねじでとめて組み立て、座面と脚を組み合わせ全体にヤスリをかけます。最後に好みの形に切ったピースを座面に並べて完成。おばあちゃんのために作ったという木村龍之介君(西中音更小6年)は「きつと喜んでくれると思う」と汗を流しながら製作に取り組んでいました。